

株主のみなさまへ

第82期

事業報告書



平成16年4月1日から平成17年3月31日まで



森永乳業株式会社
証券コードNo.2264

経営方針

当社グループは、「無限に広がる『乳の力』をもとに新しい食文化を創出し、人々の健康と豊かな社会づくりに貢献する。」を経営理念としております。この実現のため当社ブランドに対する信用のさらなる向上をめざし、お客様志向の徹底と品質第一主義、成長事業への重点投資、基盤事業での収益力確保、グループ経営の強化を基本方針とし、一層の事業拡大をはかってまいります。



CONTENTS

- 1 経営方針
- 2 株主のみなさまへ
- 3 営業の概況
- 7 研究開発活動
- 8 環境保全・社会貢献活動
- 9 連結財務諸表
- 12 個別財務諸表
- 14 トピックス
- 15 商品のご紹介
- 23 ネットワーク
- 25 会社概要
- 26 株式情報

株主のみなさまへ



ごあいさつ

株主のみなさまには平素格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

当社第82期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の事業の概況をとりまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

よろしくご高覧賜わりますようお願い申し上げます。

森永乳業グループは、平成16年度を初年度とした3か年中期経営計画を策定し、当社ブランドに対する信用のさらなる向上をめざし、お客様志向の徹底と品質第一主義、成長事業への重点投資、基盤事業での収益力確保、グループ経営の強化を基本方針として、一層の事業拡大をはかってまいります。

現在の取り組みといたしましては、乳飲料・ティー、ヨーグルト、チーズなど成長分野への経営資源の重点配分による商品の育成・拡大と、ブランド商品の強化など商品構成の改善に努めております。また、経営改革、意識改革、人的資産の育成などマネジメントの質の向上とともに、生産、販売、物流、管理など各処でのローコストオペレーションの徹底をはかっております。設備投資面では、西日本地区での最新鋭の基幹工場およ

び物流センターとして神戸工場の建設に平成17年1月より着手し、操業開始は平成18年春を予定しております。

グループにおきましては、当社を核として、コンプライアンス体制を含めた連結経営システムの構築を進めております。また、多様化する消費者や小売業のニーズに対応して、ローコストオペレーションによるスピード経営体制を構築するため平成17年4月より全国にある10の販売会社を統合し、新生デパートをスタートさせました。

商品開発におきましても「おいしいをデザインする」というスローガンのもとに販売、研究、開発部門が一体となってお客様のニーズにあった価値ある商品の提供に努めるとともに、品質保証体制の一層の強化に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、変らぬご支援、ご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

平成17年6月

代表取締役社長 古川 純一

営業の概況

◆ 連結当期の概況

当期のわが国経済は、前半では輸出の増加などによる企業収益の改善や設備投資の増加を背景に、回復基調で推移してまいりましたが、後半には原油・素材価格の高騰や輸出の鈍化もあり停滞傾向となりました。個人消費については、失業率は改善されたものの本格的な雇用回復や所得増とまでは至らず、また社会保険料の負担増や定率減税の縮小といった先行き不安を背景に、依然として力強さに欠けた状況が続いています。

市場におきましても、天候不順、多くの自然災害や長引くデフレの影響から企業間の競争は激しさを増しました。また、食品業界におきましては、引き続き企業の安全・安心に対する姿勢が問われております。

乳業界におきましては、生乳生産量は3年ぶりに前年を下回りました。加工乳・成分調整牛乳は前年を上回りましたが、ウエイトの高い牛乳が伸び悩んだことから、飲用牛乳計では猛暑があったものの前年を下回りました。また、乳飲料は前年を上回りましたが、はっ酵乳は伸び悩みました。一方、乳製品需給は、生乳生産や飲用需要の動向の影響を受け、特に脱脂粉乳については需要の低迷もあり過剰在庫問題が深刻となっており、業界をあげて対応策が検討されております。

このような環境の中で、森永乳業グループは、お客様のニーズに応えた商品の開発、改良に努め、効率的な販売促進活動を展開するとともに、ローコストオペレーションの徹底や不採算商品の削減などにより収益力の強化をはかってまいりました。

これらの結果、当期の連結売上高は前年比0.2%減の5,646億6千6百万円となりました。(会計処理方法変更前の売上高は前年比1.0%増の5,713億3千万円となります。)

利益面におきましては、営業利益は前年比4.7%増の138億5千3百万円、経常利益は前年比3.5%増の156億6千8百万円、当期純利益は前年比11.1%増の71億8千万円となりました。

◆ 連結部門別の状況

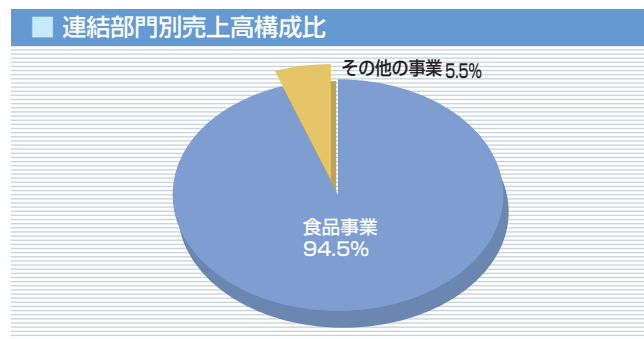
部門別の状況(部門間取引消去前)は次のとおりです。

食品事業(市乳、乳製品、アイスクリーム、飲料など)

当期の売上高は5,401億4千8百万円(前年比0.03%増)となりました。(会計処理方法変更前の売上高は前年比1.3%増の5,468億1千1百万円となります。)営業利益は317億1百万円(前年比0.1%増)となりました。

その他の事業(飼料、プラント設備の設計施工など)

その他の事業につきましては、売上高は312億9千4百万円(前年比1.2%減)となりましたが、プラント設備の設計施工部門の業績が好調に推移したことなどにより、営業利益は20億4千4百万円(前年比27.6%増)となりました。



※会計処理の変更(拡売費の計上区分)

販売競争の激化により得意先に対する拡売費の支出が増加する傾向にあったことから、その支出の内容を見直した結果、取引形態の変化に起因して実質的に売上値引に相当する支出金額の重要性が増しており、今後もその傾向が続くと見込まれたため、当期より、当該売上値引相当額について、販売費として処理する方法から売上高を減額する方法に変更いたしました。

◆ 個別売上高の状況

当期の売上高は、前年比3.6%減の4,401億8千7百万円となりました。(会計処理方法変更前の売上高は前年比2.0%減の4,477億5千4百万円となります。)

利益面におきましては、営業利益は販売経費をはじめとする各種費用の抑制により前年比12.5%増の87億2千2百万円、経常利益は前年比6.4%増の106億7千4百万円、当期純利益は前年比7.9%増の41億1千5百万円となりました。

また、財団法人ひかり協会に対する負担金として、当期は15億7千5百万円を支出いたしました。

● 市乳

牛乳類は、「森永のおいしい牛乳」が販売地区の拡大に伴い伸びておりますが、牛乳類全体では前年の売上を下回りました。

乳飲料は、カップ飲料の「カフェラッテ」などのマウントレーニアシリーズや「リプトンミルクティー」が堅調に推移し、前年を上回る売上となりました。

ヨーグルトは、フルーツヨーグルトの新製品やプレーンヨーグルトが売上に貢献しましたが、主力商品の「アロエヨーグルト」などの売上減少もあり、前年を下回る売上となりました。

プリンは、「たっぷりホイップクリームプリン」や「銘店のデザート」シリーズが好調で、全体でも前年の売上を上回りました。

これらにより、市乳の売上高は前年比6.2%減の2,058億1千3百万円となりました。



営業の概況

● 乳製品

調製粉乳は、出生数減少による国内市場縮小傾向のなか、フォローアップミルク「チルミル」は好調でしたが、乳児用ミルク「はぐくみ」が前年を下回ったこともあり、全体では前年を下回る売上となりました。

「クリーブ」は、猛暑の影響もあり売上は前年を下回りました。チーズは業務用のスライスチーズが伸びましたが、家庭用のスライスチーズや6Pチーズなどが前年を下回ったことから、全体の売上は前年を若干下回りました。

練乳は前年を上回りましたが、バターは前年を下回りました。これらにより、乳製品の売上高は、前年比4.5%減の916億2千9百万円となりました。



● アイスクリーム

猛暑の影響で「みぞれ」等の氷菓が伸びました。また、「MOW」や「チェリオ」はシリーズの強化により売上を拡大しましたが、「ピノ」や「クリスピーナ」等が前年を下回る売上となりました。

これらにより、アイスクリームの売上高は前年比0.3%減の392億8千6百万円となりました。



● その他

飲料は、「リプトンティー」の堅調とともに新製品の貢献があり、全体では前年を上回る売上となりました。

また、フルーツゼリー、クリーム、流動食は順調に推移しました。

これらにより、その他の売上高は前年比1.4%増の1,034億5千7百万円となりました。



◆ 設備投資の状況

当期中に実施いたしました設備投資の総額は186億円であり、このうち当社では総額118億円（消去前）の設備投資を実施しております。内容といたしましては、食品事業を主としており、その主なものは次のとおりであります。

当社	
東京多摩工場	市乳・デザート設備増強他
佐呂間工場	粉乳設備増強他
支社・支店	販売および物流設備増強他
子法人等	
東洋乳業株式会社	アイスクリーム設備増強他
清水乳業株式会社	市乳・デザート設備増強他
森永北陸乳業株式会社	アイスクリーム設備増強他

◆ 資金調達の状況

当社は、機動的な資金調達を行うために取引金融機関15行との間で、総額200億円のコミットメントライン契約を締結しておりますが、当期末において借入は実行しておりません。

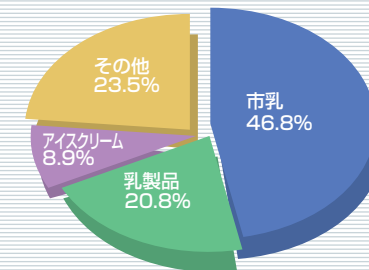
◆ 次期の見通し

通期連結業績予想につきましては、売上高5,750億円（前年比1.8%増）、営業利益160億円（同15.5%増）、経常利益175億円（同11.7%増）、当期純利益84億円（同17.0%増）を見込んでおります。

わが国経済は、景気回復に向けての動きがある一方で、原油価格の上昇などの懸念材料もあり不透明感は強く残っております。また、税金・社会保険料の負担増などにより消費者心理の好転や個人消費の顕著な回復は期待しにくい面もあり、経営環境は引き続き厳しい状況が続くものと思われます。

こうしたなかで、当社グループは引き続き経営改革の推進、成長分野への重点投資と商品構成の改善により収益力の改善をはかってまいります。

■ 個別品目別売上高構成比



研究開発活動

森永乳業グループの研究・開発は、「おいしいをデザインする」を基本テーマに、総合健康産業として確かな基盤を築くために、「乳」を中心に据えながら食品の「おいしさ」「栄養」「生体調節作用」を総合的に追求してきました。

食品総合研究所では、牛乳、乳製品など食品全般の研究・開発、改良を行っています。はっ酵技術、無菌化技術、LL（ロングライフ）技術、乾燥・造粒技術などのすぐれたテクノロジーが、クリープ、カフェラッテ、アロエヨーグルトといったヒット商品を誕生させてきました。さらにおいしく、簡便で、質の高い商品の開発をめざし、独自のキーテクノロジーの確立に努めています。

栄養科学研究所では、ドライミルクから高栄養流動食まで、赤ちゃんから成人、高齢者と、それぞれのライフステージでもっとも理想的な栄養のあり方を追求しています。研究の過程で見出された、ピフィズ菌、ラクチュロース、ラクトフェリン、ペプチドなどの機能性素材の応用を軸に、人々の健康に役立つ新しい栄養食品の開発をめざしています。



生物科学研究所では、生体の恒常性を維持するメカニズムの解明とその維持に必要な重要物質の解析を中心に、「食」と「医」の中間領域で基礎研究を行っています。これまでも、白血球減少症治療剤や胎児・胎盤機能検査の診断薬などの医療の分野に提供してきました。現在は、疾病予防や健康の維持・増進も視野に入れ、多角的な研究を進めています。

装置開発研究所では生産工程に係わる機械装置や機器の開発と改良、分析センターでは商品の安全性の確保と品質向上のための分析技術の研究、応用技術センターではお客様にお喜びいただけるメニューレシピの開発を行っています。

これらの研究成果は、人々の生涯にわたる「食」をささえる製品に幅広く活かされています。今後も21世紀に急進展する少子高齢化社会に向けて、人々の健康と豊かな生活に貢献したいと考えています。



環境保全・社会貢献活動

■ 森永乳業全工場で「ISO 14001」認証の取得が完了

森永乳業は環境に配慮し、社会に貢献する企業であることを経営方針のひとつに掲げ、1993年に環境保全業務要綱および環境方針を定め、1994年から関係会社も含めた全工場において環境マネジメントを推進しています。

具体的には用水節減、省エネ・温暖化防止、省資源化、廃棄物発生抑制・再資源化促進、化学物質管理の徹底、教育訓練の実施など、業務改善と環境保全に積極的に取り組んでいます。

1998年からはISO14001認証取得を推進し、1999年に松本工場が認証取得したことを皮切りに各工場での認証取得をめざし、2005年3月をもって全17工場の認証取得が完了しました。

また、森永乳業グループでの取得状況は、3センターおよび関係会社3社を合わせて23事業所となります。

今後とも引き続き、本社、研究所および主要関係会社で認証の取得をめざします。



■ リトルエンゼル育成キャンペーン

森永製菓との共催で、「わんぱくをつくろう！」をテーマに“おいしく、たのしく、すこやかに”の理念のもと、子供たちのすこやかな成長を願って「リトルエンゼル育成無人島探検隊！」を実施しています。昨年7月に、一般公募で全国から集まった50人の小学生探検隊員が奄美大島付近の無人島で5泊6日の探検活動を行いました。海や山で思いっきり遊ぶとともに、今回は「食育」もテーマに加え、料理だけでなく水運びやかまど造りまで体験しています。

■ 近畿工場が「総合食料局長感謝状」を受賞

近畿工場は近畿農林水産関連企業環境対策協議会に属しており、同会発足のメンバーとして設立に貢献し、30年にわたり活躍してきました。

同会は近畿地区の165社の参加があり、企業の環境対策のレベルアップをめざし、セミナーの開催、最新施設見学、公害防止管理者の研修および国家資格講習等の活動をしています。

近畿工場は昨年度のISO14001の取得による環境対策およびコージェネレーションシステム導入による省エネ活動等が評価され、昨年6月全国農林水産関連企業環境対策協議会より総合食料局長感謝状を受賞しました。



■ 森永乳業グループ「環境報告書2004」発行

環境報告書は2000年から発行していますが、今回の環境報告書は森永乳業の環境保全活動の目標や結果、紙バックリサイクルの取り組み、廃棄物の処理状況、省資源タイプの製品開発（包装資材）、環境保全対策のための技術などについて図表や写真を取り入れ、読者に親しんでいただけるよう、あたたかい誌面に大きく改訂しました。

また、品質管理、環境負荷を低減する物流の取り組み、工場見学や地域のボランティア活動など企業としての社会貢献活動も紹介しています。なお、環境報告書はホームページにも掲載していますのでお気軽にご覧ください。



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表		(単位：百万円未満切捨て)	
		当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成17年3月31日現在)	(平成16年3月31日現在)
■ 資産の部			
流動資産	109,720	112,104	
固定資産	202,834	206,252	
有形固定資産	155,979	156,257	
無形固定資産	3,456	966	
投資その他の資産	43,397	49,028	
資産合計	312,554	318,356	
■ 負債の部			
流動負債	139,788	131,902	
固定負債	75,121	94,315	
負債合計	214,909	226,217	
■ 少数株主持分			
少数株主持分	2,207	2,304	
■ 資本の部			
資本金	21,704	21,704	
資本剰余金	19,449	19,443	
利益剰余金	50,201	44,689	
その他有価証券評価差額金	4,218	4,024	
為替換算調整勘定	118	126	
自己株式	△ 254	△ 153	
資本合計	95,437	89,834	
負債、少数株主持分及び資本合計	312,554	318,356	

◆ **流動資産**
現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ、23億8千3百万円の減少となりました。

◆ **固定資産**
出資金の償還による減少などにより、前連結会計年度末に比べ、34億1千8百万円の減少となりました。

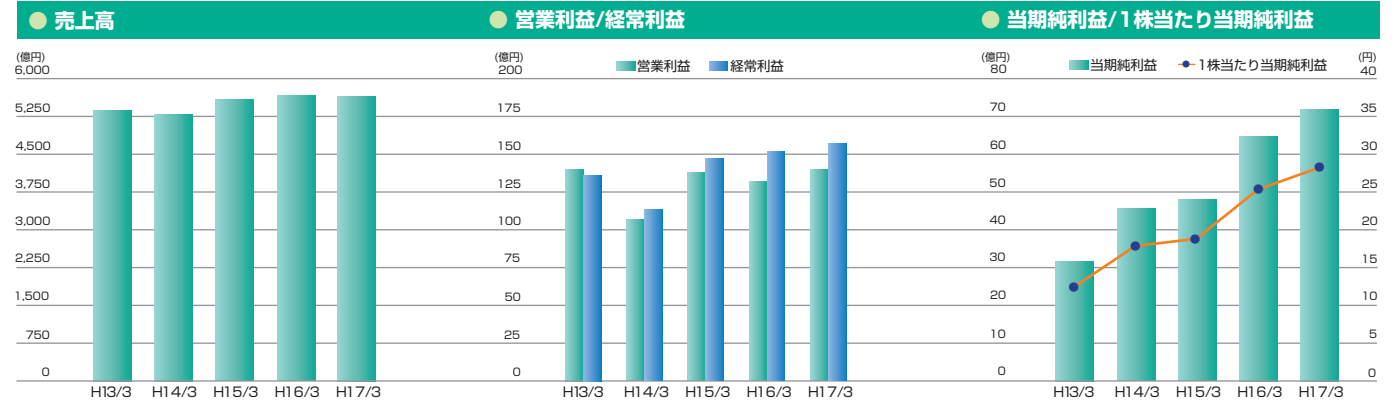
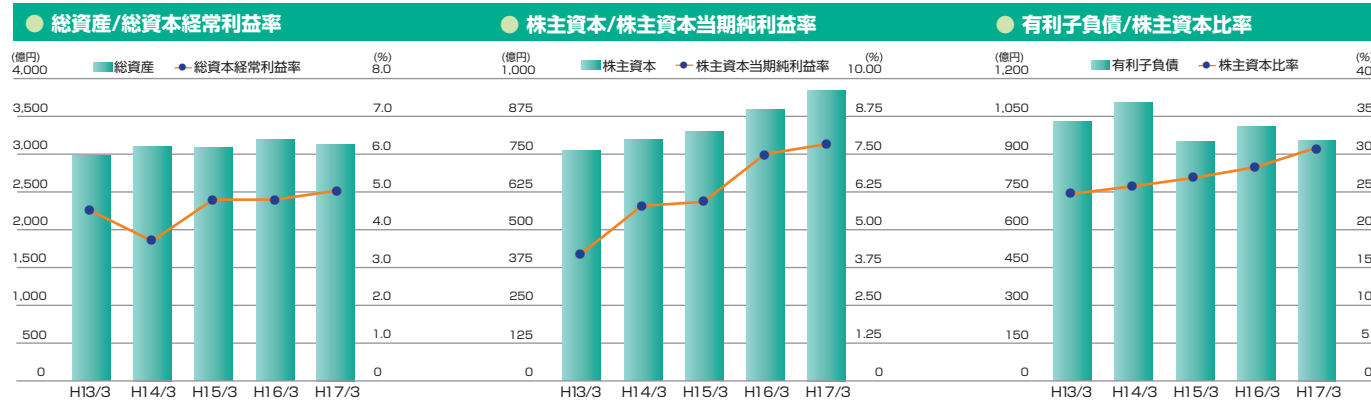
◆ **流動負債**
一年以内償還予定の社債150億円の固定負債よりの振り替わりなどにより、前連結会計年度末に比べ、78億8千6百万円の増加となりました。

◆ **固定負債**
流動負債に振り替わった社債や長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ、191億9千4百万円の減少となりました。

■ 連結損益計算書		(単位：百万円未満切捨て)	
		当連結会計年度	前連結会計年度
		(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
売上高	564,666	565,543	
売上原価	392,376	386,746	
売上総利益	172,290	178,797	
販売費及び一般管理費	158,437	165,570	
営業利益	13,853	13,226	
営業外収益	3,517	3,647	
営業外費用	1,702	1,737	
経常利益	15,668	15,136	
特別利益	1,536	936	
特別損失	4,212	3,125	
税金等調整前当期純利益	12,991	12,947	
法人税、住民税及び事業税	5,495	5,466	
法人税等調整額	292	873	
少数株主利益	23	146	
当期純利益	7,180	6,460	

◆ **営業利益・経常利益**
販売経費をはじめとする各種費用の抑制などにより、売上高営業利益率は2.5%と前連結会計年度より0.2ポイント改善した結果、営業利益は6億2千6百万円の増益となり、経常利益は5億3千1百万円の増益となりました。

◆ **当期純利益**
特別損益では新潟県中越地震災害による損失を計上いたしましたが、税金費用の減少などもあり、7億2千万円の増益となりました。



連結財務諸表

■ 連結剰余金計算書 (単位：百万円未満切捨て)

	当連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
■ 資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	19,443	19,442
資本剰余金増加高	6	0
資本剰余金期末残高	19,449	19,443
■ 利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	44,689	39,758
利益剰余金増加高	7,180	6,503
利益剰余金減少高	1,668	1,573
利益剰余金期末残高	50,201	44,689

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円未満切捨て)

	当連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,650	17,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,104	△17,857
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,795	3,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	△ 40
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,260	3,646
現金及び現金同等物の期首残高	9,914	6,267
連結子会社減少に伴う現金及び現金同等物の期首残高減少額	△ 28	—
現金及び現金同等物の期末残高	6,625	9,914

◆ 営業活動によるキャッシュ・フロー
法人税等の支払額が減少したことなどにより、前連結会計年度に比べ18億2千1百万円増加いたしました。

◆ 投資活動によるキャッシュ・フロー
固定資産の取得による支出は増加いたしました。出資金の償還などによる収入が増加したことなどにより、前連結会計年度に比べ27億5千2百万円増加いたしました。

◆ 財務活動によるキャッシュ・フロー
コマーシャルペーパーの償還などにより、前連結会計年度に比べ115億1千1百万円減少いたしました。

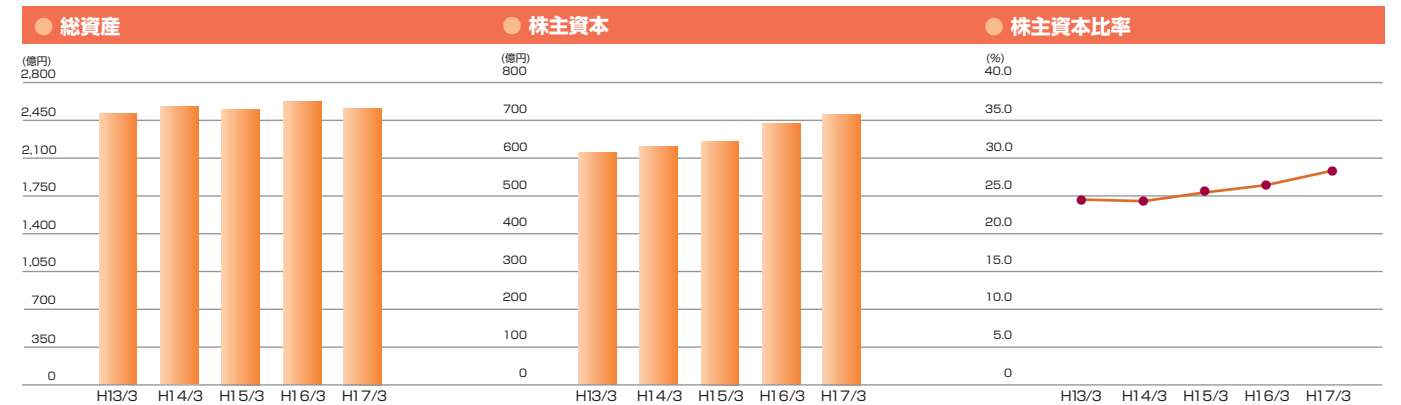
■ 連結対象会社

- ◆ 連結子会社 (37社)
 - エムケーチーズ (株)
 - (株) デイリーフーズ
 - 東洋乳業 (株)
 - 他 34社
- ◆ 持分法適用会社 (6社)
 - 富士乳業 (株)
 - 他 5社

個別財務諸表

■ 貸借対照表 (単位：百万円未満切捨て)

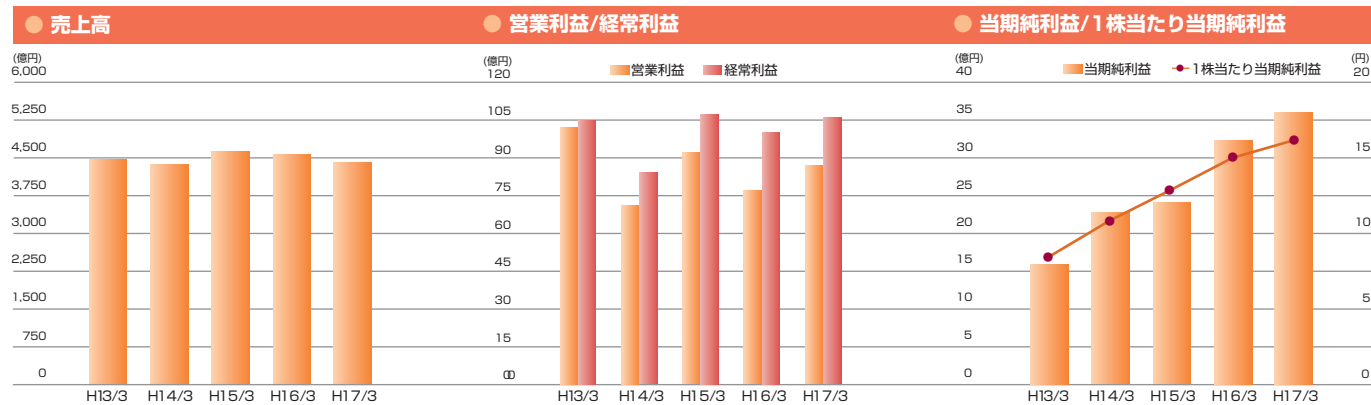
	第82期 (平成17年3月31日現在)	第81期 (平成16年3月31日現在)
■ 資産の部		
流動資産	102,385	105,388
固定資産	153,564	156,671
有形固定資産	108,166	109,247
無形固定資産	2,689	198
投資その他の資産	42,708	47,225
資産合計	255,949	262,059
■ 負債の部		
流動負債	129,333	119,287
固定負債	54,743	73,565
負債合計	184,077	192,852
■ 資本の部		
資本金	21,704	21,704
資本剰余金	19,449	19,443
利益剰余金	27,007	24,437
利益準備金	3,529	3,529
任意積立金	15,270	13,571
当期末処分利益	8,207	7,336
その他有価証券評価差額金	3,964	3,776
自己株式	△ 254	△ 153
資本合計	71,871	69,206
負債及び資本合計	255,949	262,059



個別財務諸表

■ 損益計算書		(単位：百万円未満切捨て)	
	第82期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	第81期 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	
売上高	440,187	456,808	
売上原価	321,895	328,706	
売上総利益	118,292	128,102	
販売費及び一般管理費	109,570	120,350	
営業利益	8,722	7,751	
営業外収益	3,445	3,731	
営業外費用	1,492	1,449	
経常利益	10,674	10,033	
特別利益	992	842	
特別損失	4,292	3,186	
税引前当期純利益	7,374	7,689	
法人税、住民税及び事業税	3,252	3,450	
法人税等調整額	6	424	
当期純利益	4,115	3,814	
前期繰越利益	4,092	3,521	
当期末処分利益	8,207	7,336	

■ 利益処分		(単位：円)	
	第82期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	第81期 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	
(当期末処分利益の処分)			
当期末処分利益	8,207,920,022		
固定資産圧縮記帳積立金取崩額	89,213,500		
合計	8,297,133,522		
これを次のとおり処分いたします。			
株主配当金	1,519,724,874		
(1株につき普通配当6円)			
役員賞与金	24,300,000		
(うち監査役賞与金) (3,300,000)			
固定資産圧縮記帳積立金	326,033,824		
別途積立金	3,350,000,000		
次期繰越利益	3,077,074,824		
(その他資本剰余金の処分)			
その他資本剰余金			
自己株式処分差益	6,977,532		
これを次のとおり処分いたします。			
その他資本剰余金次期繰越高			
自己株式処分差益	6,977,532		



トピックス

● 肝栄養流動食「ヘパス」が新技術・食品開発賞を受賞

日本食糧新聞社制定の第18回「新技術・食品開発賞」に森永乳業グループの(株)クリニコから発売されている肝栄養流動食「ヘパス」が受賞しました。この賞は平成16年度に大きな成果をあげ、食品業界に新分野を開拓、新しい発展の原動力となり、その技術に対する評価を高めることになった商品に対して授与されるものです。

受賞理由として、「ヘパス」は病態栄養学の最新の知見、森永乳業独自のペプチド製造技術を駆使し、食品タイプでは初めての本格的な病態別栄養食品であり、肝硬変患者での効果の検証や、慢性肝炎患者、肝疾患、高齢者などへの利用も増えていることなどがあげられました。

今後も当社独自の優れた技術を応用し、健康面そのものと人々の快適な生活をサポートする商品の開発を進めてまいります。



● 神戸工場建設工事がスタート

兵庫県神戸市灘区に、21世紀の当社を担う西日本地区での最新鋭の基幹工場として、神戸工場の建設に本年1月より着手しました。当工場は、「カップ飲料」、「ヨーグルト商品群」、「高栄養流動食」など、当社の誇る画期的な高品質の新商品群を、技術の粋を集めて効率よく生産する予定です。また、当工場は西日本地区での「市乳・チルド商品物流センター」としても位置付けており、あわせて物流機能の集約、強化をはかってまいります。来春の竣工と本格稼働を予定しています。



● 「森永アロエヨーグルト」発売10周年を機にリニューアルとラインアップを充実

「森永アロエヨーグルト」は「素肌とカラダのために」をコンセプトに開発され、1994年12月に発売されました。そのおいしさは若い女性を中心に口コミで広がり、発売1年足らずでフルーツヨーグルト市場のトップシェア商品となりました。昨年12月に発売10周年を迎え、よりおいしく、より健康的な商品として「森永アロエヨーグルト」シリーズをリニューアル発売しました。また、本年3月には、日本初のパウチ型ヨーグルトとして「森永アロエヨーグルト ハンディスタイル」と、ご家族でお楽しみいただける4連タイプの「森永アロエヨーグルト低脂肪 4ポット」を発売し、さらにラインアップの充実をはかりました。



Topics

商品のご紹介



森永のおいしい牛乳
牛乳にやさしい、
新製法で作った
新しいおいしさ。



チルドドリンク

森永ココア
ココアとミルクの
バランスのよい
おいしさ。



ピクニック
ストロベリー／フルーツ／
ヨーグルトテイスト／カフェ・オ・レ／
キリマンジャロブレンド／
キリマンジャロブレンドカフェ・オレ
幅広い層に人気のロングセラー。



New **ピクニックプリズマ**
コーヒー／ストロベリー／フルーツ／ヨーグルトテイスト／カフェ・オ・レ
人気のピクニックがプリズマ容器で新登場!!



New **モカブレンド**
モカブレンドコーヒー／モカブレンドカフェオレ
コクがあり、香り高い本格コーヒー。

森永マミー
ビフィズス菌の栄養源、
ミルクオリゴ糖入り。



身体と美しさを
マネージメントする
人の新飲料。



ボディマネージメント **ビタミン10** **スキンマネージメント** **アロエ**



香りとコクの
エスプレッソコーヒー。



カフェラッテ エスプレッソ² ノンシュガー ハニーラテ **New** メープルカプチーノ



サンキスト100% 果汁にこだわったハイクラスなおいしさ。



オレンジ アップル グレープフルーツ パインアップル

サンキスト
フルーツミルク
オレンジ&マンゴー



SUNKIST GROWERS, INC.のトレードマークライセンスにより森永乳業の発売する製品です。Sunkist...
©2012 SUNKIST GROWERS, INC., SHERMAN OAKS, CALIFORNIA 94238USA. 全の登録商標です。



リプトンが厳選した
紅茶と果汁、ミルクの
ハーモニー。



レモンティー ミルクティー パインアップルティー ピーチティー

商品のご紹介



チルドデザート



アロエヨーグルト 11年目を迎えるロングセラー。ご家族みんなでさらに手軽に楽しめる4連タイプも新登場。



ビヒダスヨーグルト
生きたまま腸まで届く
ビフィズス菌BB536配合。
特定保健用食品。



**ラクトフェリン200
ヨーグルト/ドリンクタイプ**
話題のたんぱく質
ラクトフェリン200mg配合。



練乳いちごヨーグルト
練乳入りのミルクィーな
ヨーグルトと苺のおいしさ。



**具たくさんフルーツと
ヨーグルト**
驚きのフルーツ量に大満足の
ヨーグルトデザート。



ナタデココヨーグルト
食感の良いナタデココがたっぷり。
ナタデココのおいしさがシンプルに
味わえるヨーグルト。



焼プリン
ほろ苦いカラメルソースで、
飽きのこない味わい。



フルーツゼリー3色3連
ストロベリー、グレープ、オレンジ、3つのおいしさ。



森永プリン
口あたりなめらか、プリンスタンダード。



**SIMPRICH (シンプリッチ)
クリーミィクリームプリン ヴァニージュ**
良質な卵と48%純乳脂生クリームを
使用しております。ちょっとリッチなデザートです。



**Petit Pot (プチポ)
くちどけクリーミィカスタード**
小さなカップにおいしさをぎゅっと詰めました。
とびきりとろける食感のプリンです。



**たっぷりホイップ
クリームプリン**
なめらかカスタードプリンに
ホイップクリームを
たっぷりトッピング。



**とろける
コーヒーゼリー**
コクのある練乳クリーミィ
ポーションがコーヒーゼリーの
おいしさを引き立てます。

Sunkist



オレンジゼリー



ぶどうゼリー

お子様からお年寄りまで大人気のフルーツゼリー。

SUNKIST GROWERS, INC. のトレードマークライセンスにより森永乳業の販売する製品です。Sunkist, SUNKIST, SUNKIST GROWERS, INC., SHERMAN OAKS, CALIFORNIA 91423, U.S.A. の登録商標です。

商品のご紹介



アイスクリーム



ピノ
ひとくちアイスの代名詞。



MOW (モウ)
一層ミルク本来の味わいになりました。



チェリオ
チョコ好きにはたまらない
板チョコ入りバーアイス。

クリスピーナ
おいしさ本位のお洒落な
シュガーコーンアイス。



New
PARM
チョコレートバー
大人の味覚を満足させる、
本格的アイスクリームバー。



Fami
バニラ&チョコ
クリームソーダ&コーヒーフロート
ご家族みなさまで楽しんでいただきたい、
マルチパックの新ブランドです。



〈ミニシリーズ〉
食べたいときに、好きなだけ。
おやつやデザートにぴったりのおいしさです。

New ミニミルク



Sunkist
ミニフルーツ



SUNKIST GROWERS, INC. のトレードマークライセンスにより高品質な
の産する製品です。Sunkist は SUNKIST GROWERS,
INC. SHERMAN OAKS, CALIFORNIA 91423 USA の登録商標です。

チルド乳製品



**クラフト
スライスチーズ**

サンドイッチをはじめいろいろなお料理に。



**クラフト
とろけるスライス**

フレッシュモッツアレラ
北海道の新鮮な原乳を
使用した本格派。



100%パルメザンチーズ
ひとふりでお料理の味を
引き立てます。



**とろける
ミックスチーズ**
ピザトーストやグラタンに。
作りたてはもちろん、
再加熱でもおいしい
シュレッドチーズ。

**クラフト
カマンベール入り
6Pチーズ**
ヨーロッパ産カマンベールを
使用した、とろけるように
なめらかなおいしさ。



切れてるチーズ
ナイフ不要、
はがすだけで
食べられます。



**フィラデルフィア
クリームチーズ**
適度な酸味と豊かなコク。
チーズケーキや
いろいろなお料理に。



北海道バター
北海道のフレッシュな
生乳から作りました。



商品のご紹介



クリープ



詰め替え用ガセット

豊かなコクがコーヒーの美味しさをより一層引き立てます。



クリープ・ポーション

食品ドライ

New



ごはんにかルシウム

いつものおいしさそのままです。手軽にミルクカルシウムを摂取できます。



森永Ca
ラクトフェリン
スキムミルク

話題のたんぱく質「ラクトフェリン」と牛乳生まれのカルシウム配合。



森永ミルクチューブ入
ハンディで使い勝手抜群。



森永スキムミルク

便利なスライドジッパーへリニューアル。



育児食品・栄養食品

New



森永ペプチドミルク
E赤ちゃん

ミルクのアレルゲン性に配慮しています。
※ミルクアレルギー疾患用ではありません。



イオン飲料 もも

体への吸収が良い低浸透圧タイプの水分補給飲料。

森永ドライミルク
はぐみ

母乳に最も近いミルク。ラクトフェリン配合。



森永ペプチドミルク
Eお母さん

妊娠・授乳期のお母さんが牛乳代わりに飲める栄養補給飲料。



森永フォローアップミルク
チルミルク

満9か月～3歳頃までの栄養補給に。

りんご
3ビンパック

赤ちゃんにやさしい50%果汁飲料。



宅配専用商品

月ぎめご契約のご家庭に、1日当たり1本からお届けします。専用の保冷受箱などをご用意し、皆様の健康づくりをお手伝いします。



森永カルダス

ミルクカルシウム2倍(当社・普通牛乳比)、ビフィズス菌20億以上、鉄分1mg。特定保健用食品。



森永ラクトフェリンプラス

ラクトフェリン100mg、ビフィズス菌36億。日本初ミルクタイプのシンバイオティクス飲料。



森永エースミルク

乳脂肪4.5%、おいしさにこだわった濃いミルク。保健機能食品。



毎朝爽快

毎晩飲んで、毎朝おなかがすっきり。特定保健用食品。



充実野菜

現代人に不足しがちな食物せんいがたっぷり。



いきいき元気のおヨーグルト/
おなかに配達ヨーグルト

多機能たんぱく質ラクトフェリン、ビフィズス菌、ミルクオリゴ糖などを配合。

お問合せ先

フリーダイヤル ☎ 0120-369-465

ミルク ヨロコブ

<http://takuhaimilk.ne.jp>

森永ベビーフード

「離乳の基本」にそってつくられた安心なベビーフードです。(5か月、7か月、9か月、1才頃～)



野菜キッズ

鉄分たっぷり
シリーズ ほか



3つのおかず

おでかけに便利な
ごはんとおかずのセット



ネットワーク

◆ 国内ネットワーク

森永乳業は、本社・支店、工場、研究所など40事業所および関連会社を中心に、グループ企業、海外提携企業など、世界にまでそのネットワークを広げています。



工場見学のご案内

■ 東京多摩工場/大和工場

主な製造製品
東京多摩工場：牛乳・果汁飲料
大和工場：クリープ・育児用粉ミルク

住所：東京都東大和市立野4-515
1団体5~130名でいたします。
お子さまの見学は小学生から承っております。

お申し込み・お問い合わせ先
森永乳業(株) (本社) お客さま相談室
0120-369-744



■ 中京工場

主な製造製品：牛乳・アイスクリーム

住所：愛知県江南市中奈良1ツ目1番地
1団体15~90名でいたします。
50名以下であれば体験学習もできます。

お申し込み・お問い合わせ先
森永乳業(株) (東海支店) お客さま相談室
052-936-1521



◆ グローバルネットワーク

日本でもすっかり人気定着している「リプトン」「サンキスト」「クラフト」「スイス・エミー」などは、実は森永乳業の提携ブランド。グローバル企業との固いパートナーシップ、森永乳業の実力は世界で評価されています。



■ 提携ブランド



Kraft Foods Inc.

クラフトは米国最大の食品企業。1970年に技術提携。



Unilever Japan Beverage K.K.

Liptonは英国の世界最大の紅茶メーカー。1984年に技術提携によりLipton Japan K.K. が誕生。2005年社名を変更。



Emmi Ltd.

スイスを代表する乳製品の総合メーカー。1992年にライセンス契約を結ぶ。日本では森永乳業がソフトヨーグルトを販売。



Sunkist Growers, Inc.

米国のサンキストといえば、フルーツの代名詞。日本では森永乳業が果汁やデザート製品を幅広く販売。



Fauchon

フランスが世界に誇る食のブランド。日本では森永乳業グループがアイスクリームを販売。



PT.SANGHIANG PERKASA

インドネシア最大の製薬および食品メーカー。1986年、技術供与により育児用粉乳の現地製造を開始。



Morinaga Nutritional Foods, Inc.

1985年米国ロサンゼルスに設立。森永の技術で長期保存が可能になった「TOFU」を全米で販売。



Morinaga Nutritional Foods Deutschland GmbH

1995年ドイツシュツットガルトに設立。現地でラクチュロースなどを販売。



Fromagerie Lorraine de Vezelise S.A.

1991年、三井物産株式会社およびフランスの4社とともにフランス国内に設立。ナチュラルチーズを製造。



Milei GmbH

スウェーデン、ドイツ、日本の4企業で1972年に設立。乳糖、ホエイ粉末、ラクチュロース、ラクトフェリンなどを生産。



Harbin Morinaga Milk Ltd.

1994年中国国営企業および三井物産株式会社とともに、ハルビン市に設立。中国国内で育児用粉乳を製造・販売。

会社概要

■ 会社の概況 (平成17年3月31日現在)

商号	森永乳業株式会社 MORINAGA MILK INDUSTRY CO.,LTD.
創業年月日	大正6年9月1日(日本煉乳株式会社)
設立年月日	昭和24年4月13日
資本金	21,704,355,355円
従業員数	3,092名
会計監査人	新日本監査法人 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル
主要な事業内容	牛乳、乳製品、アイスクリーム、 飲料その他の食品等の製造、販売

■ 役員 (平成17年3月31日現在)

代表取締役会長	大野 晃
代表取締役社長	古川 紘一
専務取締役	富田 守
専務取締役	山崎 暁
常務取締役	町田 靖雄
常務取締役	内田 雅晃
常務取締役	早澤 宏紀
取締役	高橋 正宏
常勤監査役	高岡 昌昭
常勤監査役	北原 彰
監査役	松澤 泉
監査役	八重田 敏夫

株式情報

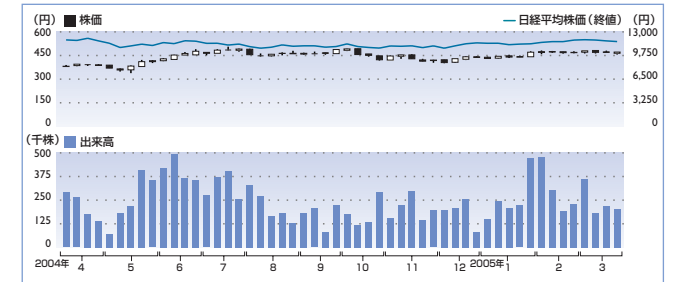
■ 株式の状況

会社が発行する株式の総数	480,000,000株
発行済株式総数	253,977,218株
株主数	38,349名

■ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
森永製菓株式会社	26,114千株	10.49%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	17,918千株	7.20%
株式会社みずほ銀行	12,431千株	4.99%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	11,520千株	4.63%
株式会社みずほコーポレート銀行	7,303千株	2.93%
株式会社東京三菱銀行	6,942千株	2.79%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口	6,644千株	2.67%
三菱信託銀行株式会社	4,620千株	1.86%
野村信託銀行株式会社投信口	4,113千株	1.65%
森永乳業従業員持株会	3,944千株	1.58%

■ 株価・出来高の推移



■ 株式のご案内

- 決算期** 毎年3月31日
配当金受領株主確定日 毎年3月31日
公告掲載新聞名
 東京都において発行する日本経済新聞
 日本経済新聞に掲載する決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書を当社ホームページに開示しております。
<http://www.morinagamilk.co.jp/company/kessan/>
- 名義書換代理人**
名義書換代理人
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所**
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
 (連絡先)
 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 (〒171-8508)
 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)
- 同取次所**
 三菱信託銀行株式会社 全国各支店

お知らせ

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買増・買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490(24時間・自動音声対応)にて承っておりますので、ご利用ください。
- 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。

ご注意 当社は中間配当制度を採用していません。

■ ホームページのご案内

森永乳業のホームページでは、「pino」や「アロエヨーグルト」など商品オリジナルサイトをはじめ、「商品インデックス」や「ヘルシーキレイレシピ集」の情報更新、投資家向けIR情報ページのリニューアルなど、常に内容の充実をはかっています。

また、この春より高齢の方や、体のご不自由な方にもホームページが利用しやすいように読み上げや拡大表示などの機能が使用できる閲覧支援ツール「WebUD」を導入しました。

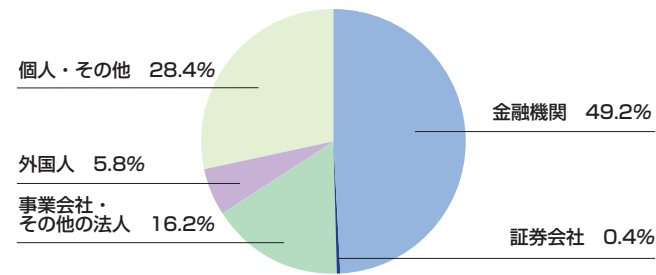
日々、内容を更新しておりますので、ぜひアクセスしてみてください。

ホームページアドレス
<http://www.morinagamilk.co.jp>

「WebUD」を利用した場合、それぞれの機能のアイコンが表示されます。



■ 所有者別株式分布状況





“おいしい”に支えられて10周年



10th ANNIVERSARY



Moisture Dessert

アロエヨーグルト



森永乳業株式会社
東京都港区芝五丁目33番1号
電話03-3798-0111



この報告書は、環境に配慮し、古紙配合率100%再生紙を使用し、有機溶剤の少ない大豆インキで印刷しています。